

人クローズアップ

川村 知久さん
かわむら・ともひさ

聞き手

桜井 龍一郎
(本誌編集長)

今回の人クローズアップには、川村知久さんに登場していただきました。プロップ98セミナーのC言語の講師であり、以前にFLANKERにも寄稿していただきました川村さんですので、ご存じの方も多いかと思いますが、本職の堺市役所の職員の他、ソフトウェアの作者など、多彩な顔をお持ちです。そんな川村さんにお話を伺いに、OBPのNEC関西支社の98セミナー会場にお邪魔しました。

——本日はよろしくお願ひ致します。まず、川村さんのお仕事についてお教えてください。

職業は堺市役所障害福祉課の職員で、主に市民講座や手話講習会などのイベントの企画や聴覚障害者関係の仕事に携わっています。

——ソフトウェアの作者としては、どのようなことをされてるのでしょうか？

パソコン通信にアップロードしたのは、スケジュールソフトの「秘書98」、住所録ソフトの「疾風98」、家計簿ソフトの「和泉98」、この3つです。「和泉98」という名前は、NIFTY-Serveの会議室で募集して決めました。

——それは川村さんが主催されている会議室ですか？

そうです。FGALSW1-6番ボードが、これらのソフトに関するサポート会議室で、私がボードリーダーをしています。

——プログラムを始めたきっかけは何ですか？

10年ほど前は、福祉部ではなく、市民部におりました。そこで住民票の検索システムが導入されて、初めてコンピューターというものを触りました。これは、ほんの数秒で80万人の住民票の検索ができるもので、「これはすごいなあ」と思い、自分でもやってみようと日本橋にパソコンを見に行きました。何の知識もなかったので、お店のポスターで見たPC-8801mkIIパソコンを、その場で買ってしまいました(笑)。

その頃からBASICで自分で使うプログラムを作っていました。

その後98に移行しました。理由はスピードで、当時の88はスピードが遅く画面表示も時間がかかっていました。98というのは速いらしいと聞きまして、乗り換えました。その頃はMS-DOSも知りませんでしたし、パソコン=BASICと思い込んでいたので、98でもBASICを使っていたのですが、自分で作るプログラムがだんだん大きくなってきて、BASICでは走らなくなってきました。そうしているうちに、C言語というのが有名になってきて、これはC言語を勉強してみようかということになりました。5、6年前のことです。

——それからパソコン通信でソフトウェアを登録するようになったわけですね？

いえ、パソコン通信を始めるようになったのは3年ほど前です。私はどっちかというのめり込む方で、パソコン通信をすると電話代がかかるの

で、やめておこうと思っていました（笑）。

3年ほど前に市民課から障害福祉課に変わりました。こちらに来ると、人に会ったりすることが多いので、スケジュールを管理する必要が出てきました。手帳でもよかったんですが、せっかくコンピューターをやっているのだから、それを利用しようと思いました。その頃はパソコン通信もやっていませんでしたので、手軽に手に入るフリーソフトウェアも知りませんでしたし、市販のソフトは高くて手が出ません。そこで、自分で作り始めたのが「秘書98」です。

作り始めた年の年末くらいには、ある程度誰でも使えるものができるようになりました。そうなったら、誰かに使って欲しいと思うようになりまして、3年ほど前にパソコン通信でソフトを登録しました。

——すると、自作のソフトを登録することが、パソコン通信を始めるきっかけだったのですね。ところで、プロップと関わるきっかけはなんだったんですか？

私が担当している障害福祉課の市民講座がありまして、そこで毎年テーマを決めているいろんな講師の方に来ていただいているんですが、2年前に朝

日新聞に載った井内ちひろさん（編集部注：FLANKERでも以前に紹介させていただきました）に出ていただこうと思い、プロップに電話したんです。その次の年は、FLANKERの俳句コーナーでお馴染みの京愛さんに出ていただきました（編集部注：この講演の様子も、FLANKERで紹介させていただきました）。今年もそろそろまたお願いしないといけないんですが……

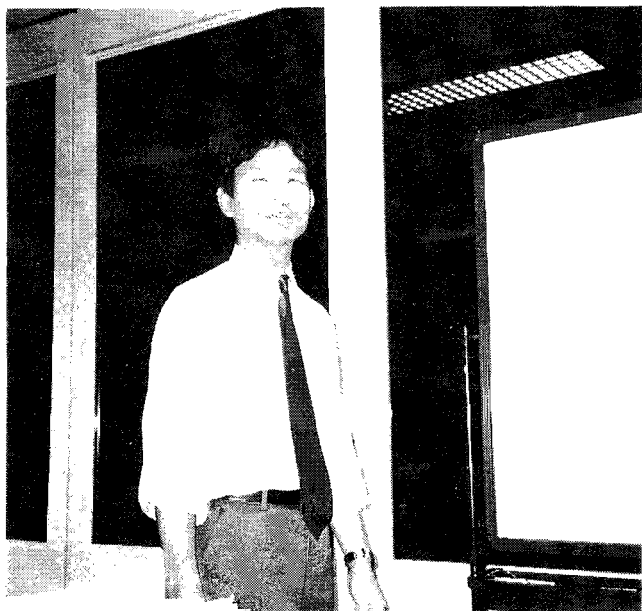
——もう予定は決っているんですか？

はい、決まりました。（文末に掲載）

京愛さんをお願いに行ったときに、コンピューターの話で意気投合しまして、その時に一度セミナーに見学に来ませんかと誘われたんです。誘われたんですが、金曜の晩ということで、あまり気が進まなかったのですが、あの人もしつこいですからね（笑）。NIFTYまで追いかけてきたので、ついに負けまして、去年の暮れに見学に行きました。それからしばらくご無沙汰してたんですが、今年の3月頃に、鈴木さんから講師の依頼を受けました。実は昔は先生になりたかったので、念願かなったって感じですね。

——講師をされて、感想はいかがですか？

皆さん熱心に来られてるんですが、反応が少ないのがちょっと寂しいですね。コンピューター言語を勉強されるのが初めての方が多いので、取っつきにくいとは思いますが。私の説明が悪いからでしょうかね……（いえいえ）。私、本当はしゃべるのが嫌いなんです。C言語も慣れですから、皆さんが慣れてこられたら、理解できてると思いますよ。私も解説書を買ってきての独学で、体系だてて勉強したわけではないので、ところどころ抜けてる部分があるかと思います。このセミナーをやらせていただくにあたって、自分なりにもう一度初歩から見直したんですが、そういうことも自分にはプラスになっていると思います。セミナーで私も勉強させていただいています。セミナー終了後の皆さんとの食事も楽しいですね。



川村知久さん

——普段の生活は？

普段の日は、通信ばかりやっていますね（笑）。朝にログを落として、仕事が終わって家に帰ってからももう一度ログを落とし、それから書き込んでます。一日にNiftyの自分のボードに3回、プロップ・ネットに3回アクセスしています。PC-VANは週一回ほどですが。（チアリさんは読まないでしょうね。（^_^）

——そうすると、通信だけでも結構大変ではありませんか？

最近では、毎日2~30のメッセージがあって、私はその1/3くらい書いてますね。アクティブなメンバーが多くて、一日に100メッセージ近くの頃もありました。

——さすがNiftyは書き込み数が多いですね。

やっぱり通信は楽しくなくてはならないと思います。サポートに関するメッセージだけでは堅くなるので、なるべく初めての人でも書き込みやすい雰囲気を作るようにしています。いろんな話題が出てきて、それで盛り上がるので、メッセージ数がたくさんになってます。

——プログラムはいつ作ってるんですか？

プログラムを作るのは休みの日、土日にやっています。朝晩に通信をやって、日中はプログラム作成を行っています。「秘書98」は作り始めてから3年半経ちますが、今もバージョンアップしています。「和泉98」は、今年の夏に作りました。

——将来作ってみたいソフトはありますか？

今後はこれらのソフトのWindows版を作りたいですね。しかしなかなか難しくてね……。まだよくわからないんです。Windowsに慣れるために、IBMのThinkPadを

買ったんですが、WindowsのプログラミングはDOSとは全く違うので、一から勉強し直しです。Windows版より先にDOS/V版を作るかも知れません。こっちの方がやりやすそうなので（笑）。

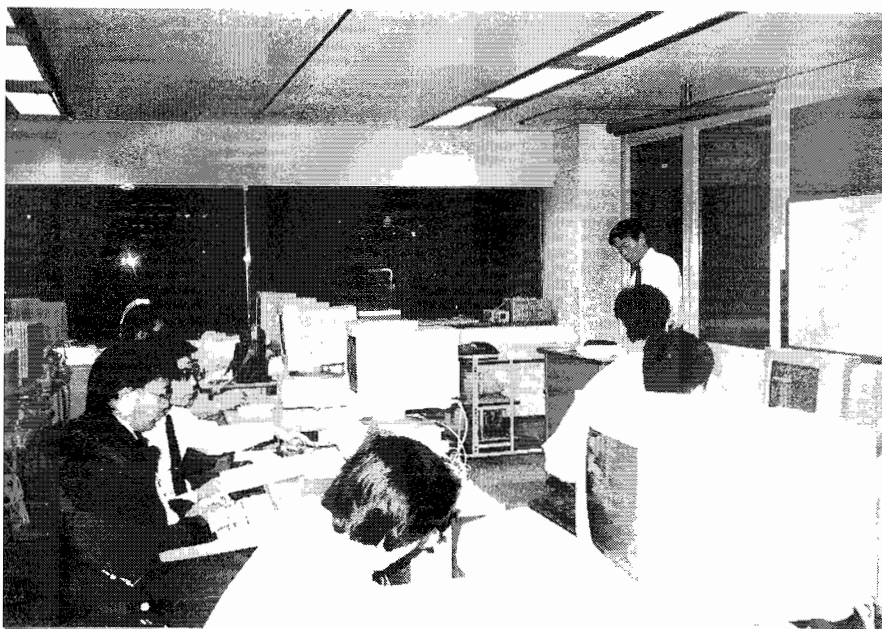
——セミナーでは、今後どのようなことをやってみたいですか？

今回のセミナーだけでは、皆さんが自由にC言語を操れるようになるとは思えないんですが、何とかその中からプログラマーと呼べるような人が出てきてくれたらと思っています。そうすれば、プログラミングは自宅でできますので、仕事にもつながると思うんですが。それが目的ですからね。

——生徒さんに希望されることはリアクションですか？

そうですね。でも、あんまり難しいことを聞かれても解りませんが（笑）。プロップ・ネットの98セミナールームのボードにも書いてきてくれることを期待しています。

——今後とも多方面でのご活躍を期待しております。本日はどうもありがとうございました。



セミナー風景

市役所の職員、プログラマー、そしてセミナー講師としてご活躍の川村さん。一見すると全く別の分野のようですが、実はそれぞれがお互いに関連を持っているのが、面白いところでもあります。そして、それぞれの分野で見事に自分を高めていらっしゃる川村さんの生き方には、学ぶべき点が多くありました。お会いしてみると、とても親しみやすいお人柄の方で、セミナーも和やかな雰囲気で行われていました。設備の面でも、非常に恵まれた環境であると思いますので、このセミナーからプログラマーが誕生することも十分実現できそうです。皆さんの奮起を期待しております。

名 称： 平成6年度堺市障害福祉市民講座
 テー マ： 「もっと就労の機会を！」
 と き： 平成7年2月23日（木）～2月25日（土）
 と ころ： 堺市総合福祉会館（南海高野線堺東駅下車5分）
 申 込 期 間： 平成7年1月5日（木）～2月10日（金）
 申 込 方 法： 堺市障害福祉課または福祉事務所に申込書があります。
 電話・FAXでも受け付けます。
 1講座だけの受講も可。
 お問い合わせ先： 堺市役所障害福祉課（〒590 堺市南瓦町3-1）
 TEL. 0722-33-1101（内線3122）
 FAX. 0722-28-8918

< 日程 >

2/23（木）

13:15 - 14:45 《障害者雇用の現状と展望》 関 宏之氏
 大阪市職業リハビリテーションセンター所長
 15:00 - 16:30 《福祉的就労について》 中内 福成氏
 せんぼく障害者作業所長

2/24（金）

13:15 - 14:45 《盲学校卒業者の就労状況と私たちの願い》 藤野 高明氏
 大阪市立盲学校高等部教諭
 15:00 - 16:30 《障害者雇用の新しい試み》 今井 清行氏
 (株)グッドウィルさかい代表取締役

2/25（土）

13:15 - 14:45 《私の就職活動とその後》 小泉 佳史氏
 ロイヤルホテル
 15:00 - 16:30 《合い言葉は「みんなでプロップ！」》 竹中 ナミ氏
 プロップ・ステーション代表

ナミねえの現物を見たい人、急いで受講を申し込もう！